



2017年7月28日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 綱川 智
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役常務 広報・IR部長
長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

米国原子力発電所建設プロジェクトに係る当社親会社保証の保証上限額
と支払スケジュールの確定について

当社は、2017年6月10日付「米国原子力発電所建設プロジェクトに係る当社親会社保証に関する米国電力会社（米国ジョージア電力社他）との合意について」にて公表のとおり、米国ジョージア電力社他（注1、以下、サザン電力）とウェスチングハウス社（以下、WEC）の新型原子炉「AP1000」2基の建設プロジェクト（ボーグル3号機、4号機）に関する当社親会社保証の保証上限額及び分割支払いスケジュールにつき合意しておりましたが、今回2017年7月27日（米国東部時間）に、米国サウスカロライナ電力&ガス社他（注2、以下、スキャナ電力）とも、2基のAP1000原子力発電所建設プロジェクト（V.Cサマー2号機、3号機）に関する当社親会社保証として、2,168百万米ドル（2,432億円）を2017年10月から2022年9月までの間に分割にて支払うことで、合意書を締結しましたのでお知らせします。なお、本件合意による影響については、2017年6月23日付で公表した「2016年度業績見通し」へは織込み済みのため、2016年度業績見通しの変更はありません。

今回の合意に伴い、当社の、WEC受注の米国原子力発電所建設プロジェクト4基に関する全ての親会社保証責任の保証上限額が確定し、親会社保証にかかる追加での費用負担を遮断したことになります。

当社は、2008年にWECが2基のAP1000原子力発電所建設プロジェクトをスキャナ電力より受注した際、スキャナ電力と親会社保証契約を締結しておりましたが、今回、WECの米国倒産法第11章に基づく再生手続（以下、WEC再生手続）の申請に伴い、スキャナ電力と、当社保証上限の金額、及び当該金額の支払いスケジュールについて協議のうえ合意したものです。スキャナ電力とは、当社とサザン電力との合意と同様、今後、プロジェクトコストの増

加等の事情の如何を問わず、保証上限額を超える建設プロジェクト関連費用を当社に請求しないことを合意しております。また、実際の工事費用が当該金額よりも低く抑えられた場合には当社はその差額の一部の返金を受けること、当社とスキャナ電力は WEC 再生手続について協調していくこと、スキャナ電力が WEC 再生手続において WEC の債権者として回収しえた額は当社保証上限額に充当されること等についても合意しております。

当社は、今回合意の保証上限額 2,432 億円及びサザン電力向け保証上限額 4,129 億円の合計 6,561 億円を、2016 年度の当社連結財務諸表において、非継続事業からの非支配持分控除前当期純損失に計上する予定です。なお、2017 年 6 月 23 日付で公表した「2016 年度業績見通し」には、海外原子力事業関連の親会社保証引当金として、2017 年 5 月 15 日付「2016 年度通期業績見通し」に織込んでいた 6,700 億円から、その時点のスキャナ電力との交渉状況等を踏まえた最善の見積りとして、4 基の米国原子力発電所建設プロジェクトに係る分の 6,561 億円を含む合計 7,162 億円を織込み済みであったため、2016 年度業績見通しの変更はなく、また 2017 年度以降も、WEC 関連で他の重要な追加悪化影響は想定しておりません。

(注 1) ジョージア電力社はサザン電力社の 100%子会社。ボーグル 3 号機・4 号機その他オーナーはオグルソープ電力社、ジョージア州電力公社及びジョージア州ダルトン市

(注 2) サウスカロライナ電力&ガス社は米国スキャナ電力社の 100%子会社。V.C サマー 2 号機、3 号機その他オーナーはサウスカロライナ州公共サービス機関

以 上